

番号	28-7	受付年月日	平成28年4月26日
件名	天堂沢の河川改修工事 施工に関する陳情	陳情者	黒谷区長 菅家達朗
紹介議員		付託委員会	経済文教常任委員会

陳情全文

天堂沢の河川改修工事施工に関する陳情

平成28年4月26日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

陳情者 住所 只見町大字黒谷字町512
氏名 黒谷区長 菅家達朗

1. 陳情の要旨

天堂沢の石積み護岸を解消し河床を下げる河川改修工事を施工していただきたくお願いいたします。

2. 陳情の理由

白沢地内に注ぐ天堂沢は、平成23年7月の豪雨災害で大量の土砂と流木を押し出し、鈴木厚さん宅と近藤トシマさん宅間に架かる町道橋付近に大きな根が引っ掛かったことにより、周囲の家や水田の中に土砂が押し出して大被害をもたらしました。

その橋から上流は3面コンクリートになっていますが、その下流は石積み護岸で、河床が高く、一部に損傷が見られ、且つ蛇行していて流木が引っ掛かりやすい状態になっております。

その上、その橋から上流よりも下流の方が川底で約50cm程狭くなっており、河川断面が下流の方が小さいというのは河川としては逆の構造で、その分溢水の危険性が高いという状態になっております。

付近の人々は、大雨が降るたびに平成23年の大災害が再び起こらないかと心配をしており、災害を未然に防いでいただきたいと願っております。

つきましては、この町道橋から下流の町道橋まで約60mの区間の石積み護岸を解消し、河床を可能な限り下げる改修工事をしていただき、近くの住民が一日も早く安心して暮らせるようにして下さいますようお願い申し上げます。

併せて、町道黒谷倉谷線の側溝兼用水路が天堂沢と平面交差していて大雨で天堂沢の水が多く出る度に止め板が流され、下流の水田に供給する用水が止まってしまうという不都合が生じて難儀をして来ましたので、河川改修工事と合わせて、用水路を立体交差にしていただきたく重ねてお願い申し上げます。